



(住所) 港区北青山1丁目1番9号 青山中学校内
(電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <https://tsubasa.minato-kyo.ed.jp/>



自分の現在地から、次の一步を



2学期が始まりました。夏休み中は、青山中学校の空調設備工事のため、狭い環境での運営となりました。児童生徒の皆さんには窮屈な思いをさせてしまいましたが、工事も無事に終わり、元の環境で活動をスタートさせることができました。皆さんは、この夏、どのような体験をしたでしょうか。家族と出かけた人、好きなことに時間を使った人、ゆっくりと心や体を休めた人もいます。大きな出来事がなかったとしても、自分なりに過ごした一日一日には、それぞれ意味があります。

先日、不登校や通信制高校からの進学について書かれた記事を読みました。その中で、総合型選抜専門塾「キャリアナビ」代表の嶋崎まあやさんは、次のように語っています。

「周囲の『当たり前』になじめずに悩んだり、挫折したりした経験は、一般的にはマイナスに捉えられがちです。しかし、裏を返せば、自分の人生や社会の在り方にそれだけ真剣に向き合ったという証拠でもあります」

私は、この言葉はまさにその通りだと感じます。

学校に行けなかったことや、周囲と同じように歩めなかったことを、「失敗」や「遅れ」と感じている人もいるかもしれません。しかし、立ち止まったからこそ、「自分は何に苦しんでいるのか」「本当はどうしたいのか」「これからどのように生きていきたいのか」と、自分自身について深く考える時間をもつことができた人もいるのではないのでしょうか。

そして、今の状態を変えたいと思ったとき、まず大切なのは、自分の現在地を確かめることです。地図があっても、自分が今どこにいるのかが分からなければ、進む方向を決めることはできません。

同じように、今の自分を否定したり、無理に以前の自分に戻ろうとしたりするのではなく、「今、自分はどのような状態にあるのか」を受け止めることが、次の一歩につながります。自分を受け止めることは、諦めることではありません。自分に合った歩き方を探し始めるための出発点なのです。

この夏休みを利用して、高等学校やサポート校の見学に出かけた生徒もいました。実際に学校へ行き、校舎や教室の様子を見たり、先生の話の聞いたりすることで、資料やインターネットだけでは分からなかったことに気づいた人もいるでしょう。

進路は、周囲の人に決めてもらうものではありません。もちろん、家族や先生と相談することは大切です。しかし、最後にその道を歩くのは自分自身です。自分で考え、自分の目を見て、自分が納得できる道を選んでいくことが大切です。

すぐに答えが見つからなくても構いません。迷ったり、立ち止まったりしながら、自分に合った道を探していけばよいのです。まずは自分の現在地を確かめ、そこからできる小さな一歩を考えてみてください。つばさ教室も、一人一人が自分らしい歩き方を見つけていけるよう、ともに考え、支えていきたいと思っています。

高校の先生のお話を聞く会

9月25日(金)に高校の先生のお話を聞く会を実施します。今年は東京都立新宿山吹高等学校副校長の石井健一様と東京都立六本木高等学校統括校長の松本浩子様のお二方をお招きして、それぞれ学校の特色(授業、生活、卒業後の進路等)をお話していただきます。お話を聞くことができるのはつばさ教室に通う中学1年生から3年生とその保護者です。場所はつばさ教室の学習室で、午後1時30分から3時20分までを予定しています。

2校とも昼夜間定時制、単位制の学校で、自分に合った登校時間を選ぶことができ、毎年つばさ教室からも進学しています。進路先を決めている人も自分の進路先以外の学校の話を進学前に聞くのは、中学3年生だけでなく、中学1,2年生の生徒にとっても、自分の将来を見つめ、進路選択に向けて考えを深める貴重な機会です。高校の先生に質問や話してほしい内容があったら参加申込書に書くかスタッフまでに申し出てください。

なお、つばさ教室には部屋に余裕がないため、小学生などお話を聞かない人は、申し訳ありませんが9月25日の午後1時で降室になり、午後の活動はできなくなります。



新宿山吹高等学校



六本木高等学校

防災の取組について

7月28日に発生した熊本地震では大きな被害が生じ、現在も復旧に向けた取組が続けられています。また、8月下旬には南青山で震度4を観測する地震があり、身近なところでも地震への備えについて改めて考えさせられました。さらに、千葉県では大雨による冠水被害も発生するなど、地震だけでなく、台風や豪雨などさまざまな自然災害への備えが必要です。

つばさ教室でも、子どもたちが災害時に落ち着いて自分の身を守ることができるよう、**9月29日に「防災の取組」を行います。**当日は、防災についての学習と避難訓練を実施し、訓練後には港区から提供していただいた非常食の試食も行う予定です。実際に非常食を食べてみることも、災害時の生活を具体的に考えるよい機会になると思います。

また港区では、**震度5弱以上の地震が発生した場合、子どもだけで降室させず、保護者等への引き渡しを行うことになっています。**この対応を確認するため、つばさ教室では9月28日から10月2日までの11時~16時に引き取り訓練を行います。期間中、ご都合のよい時間にお越しいただき、引き取りをお願いいたします。

なお、お子さんを引き渡すことができるのは、**原則として「緊急時連絡票・引き渡し確認票」に記載されている方のみ**です。やむを得ず、それ以外の方が引き取りを行う場合には、必ず事前につばさ教室までお知らせください。

災害は、いつ起こるか分かりません。今回の取組を、子どもたちだけでなく、ご家庭でも「もしものときにどう行動するか」を話し合うきっかけにいただければと思います。

